

2024年10月2日(水)

オキナワグラフ(10月号) 地域社会の課題解決に貢献 土地連が19団体に

寄付金贈呈

保存先: 21

地域社会の課題解決に貢献
土地連が19団体に寄付金贈呈



照屋会長

(二社) 沖縄県軍用地等地主会連合会(土地連、照屋清秀会長)は9月13日、北谷町の土地連会館で人材育成・社会福祉に関わる団体への寄付金贈呈式を行った。6月の総会で選出された照屋新会長は「2000年に寄付活動を開始し、徐々に寄付先を増やしてきた。寄付に対する会員・役員の意識も高まってきている。寄付金が皆さまの活動に少しでも役立つのであれば幸いだ」とあいさつし、19団体にそれぞれ寄付金を贈呈。受領者を代表して、沖縄県国際交流・人材育成財団の宮城淳理事長は「寄付金は財団の基金として積み立て、その利息を奨学金として活用する。これからも明日の沖縄を担う人材育成に邁進していく」と話し、沖縄県社会福祉協議会の嘉陽孝治常務理事は「社会福祉に理解いただき支援いただけることは大変ありがたい。寄付金は有効に活用する」と礼を述べた。その他の今回の贈呈先は本部町、宜野座村、うるま市、浦添

市、南城市の各社会福祉協議会と5市町村の育英会、スベシャルオリンピックス日本・沖縄、沖縄女子短期大学、沖縄被害者支援ゆいセンター、おきなわ子ども未来ネットワーク、沖縄こどもの未来県民会議、沖縄県手をつなぐ育成会、沖縄県青少年育成県民会議の19先で、寄付金総額は440万円。同連合会は、児童・青少年の人材育成や少子高齢化問題の解決が地域社会の発展に重要との観点から、2000年より各組織に寄付活動を行っている。



贈呈式終了後の記念撮影